

新年のごあいさつ



三重県中小企業団体中央会
会長

佐久間 裕之

新年あけましておめでとうございます。

元号が令和に変わり、初めての新年となりました。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

さて、わが国経済は、内需を中心に緩やかな景気回復が長期間にわたって続いているとされていますが、昨年10月に消費税率が引き上げられ、仕入価格の上昇や、景気後退への懸念が強まっています。また、頻発する自然災害への対応をはじめ、深刻な人手不足や、後継者不在を背景とした事業承継の問題、働き方改革への対応、加えて国際情勢では米中の貿易摩擦による受注減少等の動きがあり、大変不透明な状況となっています。

このような状況の中で、地域の経済・雇用を支える中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けて、更なる生産性の向上が求められています。そのためには個々の自助努力に加えて、英知を集結し、組織の力で課題に立ち向かい、困難を克服するため、組合等の連携組織の果たす役割は一層重要になっております。

三重県では、「みえ産業振興ビジョン」が策定され、第4次産業革命への適応、「若者」に魅力あるしごとの創出、新しい価値の創出など、経済・社会構造の変化に柔軟に対応する施策の方向性が示されています。

中央会といたしましても、国・県当局の施策と協働し、中小企業連携組織の専門支援機関としての役割を最大限に発揮しながら、ものづくり、IT活用、人材育成などをはじめとする様々な支援事業を積極かつ意欲的に実施し、「活力と魅力あふれる中央会」として、皆様が経済活力の源泉として十分に力を発揮できますよう環境整備に全力を傾注する所存でございますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック関連需要・インバウンド需要の拡大を背景とした大規模な経済成長が期待され、我々地域の中小企業にもチャンスが到来すると確信しております。本年が、皆様方のご繁栄とご健勝、そして希望に満ちた飛躍の年になりますよう心より祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。



三重県知事

鈴木 英敬

明けましておめでとうございます。

三重県中小企業団体中央会並びに会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、平成から令和に改元され、新しい時代を迎えるとともに、11月には、「即位礼及び大嘗祭後に神宮に親謁の儀」を執り行うため、天皇皇后両陛下が御即位後、初めて三重県に行幸啓されました。沿道等で熱烈な歓迎の気持ちを示していただいた多くの県民の皆様から感謝申し上げるとともに、三重の地でこのような歴史的な儀式を迎えることができたことに大きな喜びを感じています。

本年の夏には、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。両大会を通じた熱気や盛り上がりや地域の活性化や三重の魅力発信に生かすとともに、翌年に迫る三重とこわか国体・三重とこわか大会へとつなげてまいりますので、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、本県は平成26年4月に「三重県中小企業・小規模企業振興条例」を施行し、全国に先駆けて中小企業・小規模企業の振興を図ってきました。そうした中、先端技術を社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会であるSociety 5.0に向けた取組や、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献が求められるなど、中小企業・小規模企業を取り巻く環境は大きく変化しています。県におきましては、今年、近年の社会構造の変化を反映するための条例改正を行い、引き続き三重県経済を強じて多様な産業構造にしていくための支援施策の充実を図ることとしています。

今後、本県が将来にわたり持続的に発展していくためには、中小企業・小規模企業の皆様が連携して、環境の変化や新たな課題に的確に対応していくことが重要であり、三重県中小企業団体中央会のますますのご活躍とご発展を大いに期待しているところです。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。